

H29年度 地方創生推進交付金事業

①市単独事業

交付対象事業の名称	事業概要	事業内容	事業費 (実績)	交付金 充当額	本事業における重要業績評価指標(KPI)					市評価
					指標	基準値 (H27)	目標値 (H31)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	
【H28～H30】 世界遺産と世界の偉人の 魅力発信による未来へ つながる“しごと”創生事業	【目的・趣旨】 本市の多様な地域資源と世界遺産や世界の偉人の魅力を、より多くの方々に発信し、知ってもらい、来てもらい、そして、住んでもらい、働いてもらう、「住んでよかった。これからも住み続けたいまち」を築き上げるための受皿をつくり、定住及び移住を促進するとともに、これまで、本市の隘路となっていた安定したしごとを創生する新たな事業を展開することで、KPIの達成(社会減の抑制)を目指す。 【事業概要】 交流人口増大のため、県とも連携を図る中で、しごとにつながる効果的なプロモーションの実施や大学との実践的な活動に取り組むとともに、アクセスバスの運行拡充により、受皿づくりの充実に努める。さらに、世界遺産追加登録という好機を捉え、一連の事業を展開することにより相乗効果を図ることで、多くの外国人観光客を受け入れ、将来的には新たな雇用づくりにつなげる。 また、街なかの賑わい創出に向けて、ポケットパークの活用に向けた啓発活動等により市民の機運を高めるとともに、南方熊楠翁生誕150周年を好機と捉え、国立科学博物館との共催による企画展をはじめ、国際学会や記念式典の開催など、国内外に向け熊楠の魅力や功績を大々的に発信する。 これらの流れを持続可能な“しごとづくり”につなげ、本市の基幹産業である第一次産業をはじめとする産業分野全般における稼ぐ力を強化するため、グリーンツーリズムモデル事業については、企画立案できる取組へと発展させ、さらに森林組合へは新たに雇用した林業従事者に対する研修や現場指導など、人材を育成するための支援、漁協についても食堂開設に係る支援を行うことで、新たな雇用の場を確保する。また、たなべ未来創造塾については、本市の精米販売店がお米マイスターの資格を取得し、農業への事業展開や熊野米パンを開発するなど、お米の地産地消を実施している成功事例等を参考にしながら、新たなビジネスモデルを創出し、次年度以降の創業、第二創業といった新たなビジネスチャンスを生み出すための足掛かりとなる取組を行う。	【新たな人の流れの創出】 ・首都圏等を中心としたシティプロモーションの実施 ・高野・熊野アクセスバスの運行拡充 ・大学との地域連携への取組 【街なかの賑わい創出】 ・南方熊楠翁生誕150周年を記念した企画展、国際学会、記念式典等の実施 ・ポケットパークの活用を見据えた啓発 ・外国人受け入れ対応への支援拡充 【安定したしごとづくり】 ・グリーンツーリズムモデルプランの企画立案 ・山の暮らしへの支援 ・シラス食堂開設への支援 ・たなべ未来創造塾の開講	53,838,717	26,919,358	転出超過数	679人	160人	602人	509人	D
					南方熊楠顕彰館入館者数	6,489人	7,510人	9,786人	7,100人	A
					農林水産業の新規就業者数及び新設事業所の従業者数	-	231人 (4年間)	75人	81人	C

※市評価欄について
A：地方創生に非常に効果的であった、B：地方創生に相当程度効果があつた
C：地方創生に効果があつた、D：地方創生に対して効果がなかった

②広域連携事業

交付対象事業の名称	評価検証について
地域を主体とした世界農業遺産活用戦略推進事業	本事業の評価検証については、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会において実施する。